

裂田溝は、神社の裏から右へ大きく迂回しながら「亀島」の間を通り、安徳の「針口」へと流れています。

裂田神社鳥居の北側に架かって
いた鉄板製の橋は、農作業に使わ
れていましたが、今回の工事で新しい
木の橋に変わり、溝に添った新設の
遊歩道とを結ぶ橋へと変わり「亀
島橋」と命名されました。橋の名前は
古来より「神功皇后が神田開墾のた
め溝を掘り進めてきたところ大岩
に突き当たり水を通すことができ
ません。そこで家臣の武内宿禰を召
して神祈に祈ると、たちまち雷が落
ち大岩が二つに裂けて無事水を通
すことができました。その時に裂け
てきた片方の岩が田の中にある「亀
島」です。」と伝えられるように、由

田水路の整備を推進する会」で山田の溝沿いに植える花木を選ぶなかで郷土の大先覚者『高橋善藏翁』の業績を後世に語り継ぐため、ハゼを植えることを話し合いましたが、水辺

にハゼを植えることは、水遊びの子どもたちが「ハゼ負け」になる恐れがあるため、場所がふさわしくない

と言うことで断念しました。この話を聞いた安徳の会長が、ご自分の持

ち山の一部を提供し移植されたものです。そこは遊歩道を散策する人

たちが一番目に付く絶好の場所で、あと4、5年もすると両側の「モミジ」

や「ハゼ」が生長し、晩秋の里山を美しく彩るようになることでしょう。

この場所で足を止めると、今年も豊作を約束するかのよう^{とうとう}に滔々と流

れる古代用水路「裂田溝」と、北側の「ハゼ並木」からは江戸時代の飢饉ききん

から農民の窮乏を救った「善蔵翁」の足跡をしのぶことができる場所

にもなりました。

またこの辺りは歩行者の心をな

江戸えどの代よの大飢饉ききんをば救きういたる

善蔵櫨をこの地に育ちぬ
とも

ともえ

コースメモ

72. 橋 - 23 (龜島橋)

73. 橋 - 24(上御所橋)

74. 橋 - 25 (下御所橋)

次号へ 75.橋 - 26

カワセミ橋周辺

史跡×モ

とどろきのおか
白井ハ(津路岡)

かめ しま
亀 島

裂田溝沿いの

なみ き
ハゼ並木



しもごしょばし
下御所橋 長さ6.38m 幅3.67m 高さ1.2m



かみごしょばし
上御所橋 長さ7.33m 幅2.72m 高さ1.2m



かめしまばし
亀島橋 長さ8.7m 幅2.03m 高さ1.2m



安徳台の山裾に、ハゼの木を植える
水路の会の役員さん



夏の川は子どもにとって楽しい遊び場です



マガモ一家の可愛いしぐさが評判です



裂田水路沿いに、サクラやモミジを植える水路の会の役員さん

